

# 北部病院だより 第121号(2018.7)

## Showa University Northern Yokohama Hospital

【巻頭言】 看護部の教育システム  
【TOPICS】 医学部学生向け「病院見学会」  
【TOPICS】 春期公開講座  
【TOPICS】 栄養科だより  
【TOPICS】 モーニングセミナー  
【患者さんからのご意見・ご要望】  
【診療統計】  
【医師の配属・異動・退職】  
【編集後記】



昭和大学  
横浜市北部病院

90<sup>th</sup>  
SHOWA University  
至誠一貫 Since 1928



## 巻頭言 看護部の教育システム

昭和大学は、大学病院・大学病院附属東病院・藤が丘病院・藤が丘リハビリテーション病院・横浜市北部病院・江東豊洲病院・烏山病院・歯科病院の8病院を運営しています。これらの病院は4人の看護部長が管理し、それらを統括するのが統括看護部です。患者さんの視点に立った組織運営と、人材育成を行っています。

看護理念は、人間の生命と人格の尊重を基盤に置いた看護を提供することです。私たちが目指しているのは、患者さんや家族から信頼される看護師となる人材を育成することです。誠実で真摯に看護を行う姿勢は、昭和大学の「至誠一貫」の精神を受け継いでいます。看護職はすべての医療職にかかわるため、基本的な看護の知識や技術だけではなく、人間性や社会性においての基本を身につけることが求められている職種です。そのために新人から看護実践をつうじて、自立して行動できる看護師としてステップアップできる教育環境を整えています。人間関係を構築でき、好奇心、継続力、柔軟性を持った人材を育成することこそが未来へ向けた準備だと私たちは考えています。

そこで、具体的には、看護実践の能力（クリニカルラダー）を、4段階（ラダーⅠ～Ⅳ）に分け、各段階の到達すべき実践能力を明確にしています。そのツールを使用し、自分の実践能力を把握し、ステップアップを目指します。このツールは、全病院共通して使用しているため、病院間の異動の際にも看護実践能力が把握でき、さらなるステップアップができるシステムになっています。このステップアップを支えるために、各病院では、各段階に沿った院内教育プログラムを計画しています。院内研修は、自施設だけではなく8病院どの施設でも受講ができるため、研修数は、200以上となります。この教育プログラムを整備し、さらなる強化に専門看護師や認定看護師が活躍しています。教育体制としては、屋根瓦教育体制をとっています。これは、全ての職員が教え、支援する過程で自身も学ぶ学習者であること、部署全体で支え合いチーム機能を発揮してお互いを育成できるという体制です。

この教育体制の中、スタートとなる新人看護師育成があります。北部病院では、今年4月に87名の新人看護職員を迎えました。他職種にもご協力をいただきながら、集合教育では専門知識に関する講義・看護基礎技術の演習を行い、更に部署では、屋根瓦教育体制の元、安全な看護ケア提供に向けた教育支援を受けています。社会人として第一歩を踏み出した職員が、看護職として必要な基本姿勢と態度を認識し責任ある行動を身につけることができるよう組織一丸となって取り組んでいるところです。現実と理想の間で生じるギャップに戸惑いながらも希望に満ちた新人の一生懸命な姿は、私達の励みにもなっています。

私たちは、「しらゆり」の花のように、清楚で品格を持った看護師として成長し、凛として輝き、しなやかに働き続けられる看護師の育成を行うことで、当院看護部の理念「北部病院で看護を受けられる人に最良（BEST）の結果をもたらすために私たちは最善（BEST）を尽くします」を目指して、患者・家族の方に寄り添う看護を提供していきます。

〈看護部教育担当 柴田雅子 有馬理加 内藤亮子〉



## TOPICS 医学部学生向け「病院見学会」

6月2日（土）、初夏を思わせる日差しの中で、今年も昭和大学横浜市北部病院見学会を開催いたしました。昨年に比べ、本年は56名と、およそ10名上回る方々にお越しいただきました。

成島研修管理委員長による挨拶に始まり、馬場臨床コーディネーター委員長から当院の概要や初期臨床研修プログラムの説明、本学のOBであり、当院で初期臨床研修の後に放射線科に入局された橋詰助教の体験談に、臨床研修1年次金児先生から【臨床研修医からのメッセージ】と題し語ってもらいました。見学者たちは将来の自分たちを重ねたように、真剣に耳を傾けていました。

休憩をはさみ、5班に分かれての施設見学を行いました。各班に1人ずつ研修医がつき、救急外来や病棟、世界に誇る内視鏡センターや研修医自身が住む寮を見学し目を輝かせていました。

施設見学後は、研修医を囲んでの座談会を行いました。日ごろの疑問やなかなか聞きづらい部分まで質問し、それぞれの疑問は解消できたようでした。また、他の見学者との情報交換も進み、懇親会では出身を問わず、和やかな雰囲気の中、盛況のうちに終了しました。ご参加いただいた皆様に厚く御礼申し上げます。

当院では、6月下旬から7月にかけて新たな相談会を開催予定です。今回、見学会に参加できなかった方、見学会に出席はしたけれど、まだまだ聞き足りないことがある方などなど、参加を希望される方は当院からの今後のお知らせにご注目ください。

また、当院では毎月、病院長・副院長にご出席いただき、研修医の先生との昼食会（ランチョンセミナー・ランチョンミーティング）を開催して、初期研修の一層の充実を図っています。お昼ごはんを食べながら、研修医たちの研修状況や生活のこと、抱えている不安や今後の希望等を、談笑を交えながら話し合いの機会を設けております。加えて、日本医療教育プログラム推進機構の主催する「総合診療スキルアップセミナー」に研修医を毎月2名派遣し、学外に研鑽の場を設け、他よりも一つ先んじた研修を行なっています。



＜臨床研修医からのメッセージの様子＞



＜懇親会の様子＞



＜ランチョンミーティングの様子＞

当院は臨床研修指定病院となっております。臨床研修とは、良質な医療を安定的に供給できるよう、卒業直後の医師に幅広い臨床の基本的な能力を身につけさせるという趣旨によるものです。

救急外来を受診される患者さんの初期対応を上級医指導のもと研修医も行います。当院では4月より以下25名の初期臨床研修医が日々現場で研鑽を積んでおります。臨床研修医の教育を行うためにも、ご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

### 【平成30年度採用臨床研修医】

|          |        |          |      |          |        |
|----------|--------|----------|------|----------|--------|
| ・ 安達 薫   | 島根大学   | ・ 岸野 壮真  | 昭和大学 | ・ 二階堂 裕士 | 昭和大学   |
| ・ 安達 まい  | 北里大学   | ・ 葛島 大知  | 昭和大学 | ・ 西村 望   | 札幌医科大学 |
| ・ 井垣 龍   | 昭和大学   | ・ 桜井 隆喜  | 昭和大学 | ・ 廣瀬 俊輔  | 昭和大学   |
| ・ 伊藤 杏奈  | 高知大学   | ・ 重松 寛哉  | 昭和大学 | ・ 宮澤 和基  | 昭和大学   |
| ・ 伊藤 有輝  | 東邦大学   | ・ 白神 佳枝  | 昭和大学 | ・ 加藤 駿   | 東海大学   |
| ・ 大倉 武   | 昭和大学   | ・ 清家 正貴  | 昭和大学 | ・ 黒木 貴典  | 昭和大学   |
| ・ 柿沼 佑樹  | 昭和大学   | ・ 中川 美星子 | 昭和大学 | ・ 井田 寛   | 愛知医科大学 |
| ・ 加藤 倫子  | 昭和大学   | ・ 中村 友宣  | 昭和大学 | ・ 松井 美彩子 | 帝京大学   |
| ・ 金児 健太郎 | 東京医科大学 |          |      |          |        |



## TOPICS 春期公開講座

6月2日(土)に春期公開講座を実施しました。今回は「認知症について」の2演題で異なる職種からの目線で(講演者:西棟3階病棟 佐藤 啓 看護師)(講演者:メンタルケアセンター 富岡 大 講師)講演を行いました。

当日は100名近くのたくさんの方にお越しいただき、質問も多かった様子から、介護をする立場の方の参加が多かった様に見受けられます。

講演後にお答えいただいたアンケートには、好評の声や今後希望するテーマやご意見などが寄せられ、今後の講演に生かしていきたいと思います。

### 【講演者からのコメント】

#### 〈西棟3階病棟 佐藤 啓 看護師〉

「多くの方に参加していただき、また多くの質問もいただきありがとうございました。認知症を持った人とその家族が地域で安心して暮らせるよう、病院の看護師という立場から今後も貢献していきたいと思えます。」

#### 〈メンタルケアセンター 富岡 大 講師〉

「ご出席いただいた皆様、ありがとうございました。真剣に聴いていただき、多くのご質問もいただき、皆様の熱意を直接感じる事ができました。改めて、認知症の治療と介護の重要さと、治療に携わることの責任感を感じる事ができました。またこのように皆様と話しあう機会がありましたら、ぜひご参加いただければと思います。」

### ○今年度の秋期公開講座について

平成30年10月13日(土)13時30分から当院西棟講堂にて『化学療法治療について』『放射線治療について』という演題で2講演を行います。

縄田 修一(薬剤部・講師)と野田 主税(放射線技術部・部長)にご講演いただきます。

次回も手話通訳、要約筆記、ヒアリンググループを用意する予定です。多くの方のご参加をお待ちしております。



## TOPICS 栄養科だより

7月7日は、七夕にちなんだ行事食を提供させていただきます。

七夕といえば一部地域でそうめんを食べる風習がありますが、この風習は中国ではなんと1000年以上前から存在していると言われてます。小麦粉からできた索餅(さくへい)という料理を7月7日にお供えることで、1年の無病息災を願うというものです。これが日本にも伝わり、のちにそうめんとして食されるようになりました。現在ではそうめんを織姫の織る糸に見立てたり、天の川の流れに見立てたりと、七夕祭りにも親しみのある食材となりました。今回は七夕清汁にオクラとそうめん、煮物は季節の野菜の冬瓜で、七夕の夜空の天の川をイメージしました。

また、蒸し暑い日が続いておりますので、酢飯の酸味でさっぱりと食べられるよう、ちらし寿司をご用意しました。また、デザートはかわいらしい織姫と彦星のモチーフゼリーをご用意しました。食事は元気の源。しっかり食べて夏本番の暑さをのりきる体力をつけたいですね。



〈昨年度の行事食〉

## TOPICS モーニングセミナー

5月11日(金)より、下記のとおり全職種を対象にモーニングセミナーが開始されました。

1. 開催 月2回(第2・4金曜日)
2. 時間 8時~8時20分
3. 対象 全職種

5月・6月の演者は「平成29年度北部医学会受賞者」です。



〈学術奨励賞 5/11〉



〈北部医学会賞 5/25〉



〈院長特別賞 6/8〉



〈全体の様子〉

## 患者さんからのご意見・ご要望

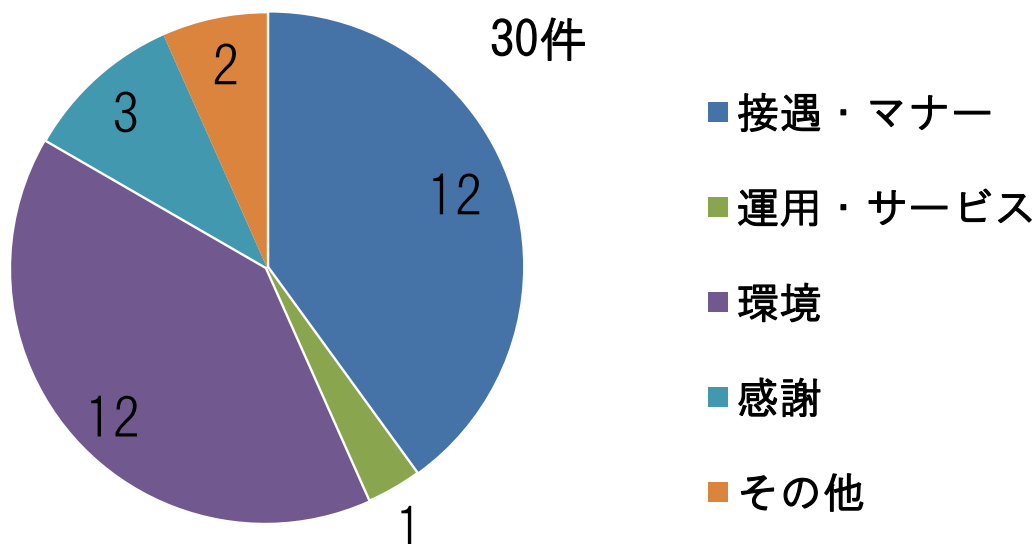
日々患者さんよりいただきましたご意見・ご要望に関しましては、病院長及び関連する部署の責任者に報告し、改善に努めております。

今までのご意見の中で多くいただいたものや最近のご意見・ご要望を中心に改善策を掲載させていただきます。掲載されていない内容についても対応しておりますのでご了承ください。

今後もお気付きの点やご要望をお聞かせくださいますようお願い申し上げます。

| ご意見・ご要望                                                                                                                                                                                              | 回答・改善等                                                                                                                                                   |
|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <p>&lt; 接遇・マナーについて &gt;</p> <p>新人看護師の挨拶についてです。</p> <p>先輩看護師は「本日担当します」と挨拶してくれましたが、新人看護師は自己紹介もなく無言で血圧測定をされました。新人ということで技術など未熟だと思いますが、挨拶等ができるスタッフ教育をお願いします。</p> <p style="text-align: right;">他 11 件</p> | <p>この度は不快な思いをさせてしまい、申し訳ございませんでした。</p> <p>新人への指導とともに、病棟全体に基本である挨拶の指導徹底を行い、患者さんが安心してご入院いただけるよう努力して参ります。</p> <p>貴重なご意見をありがとうございました。</p>                     |
| <p>&lt; 運用・サービスについて &gt;</p> <p>駐車料金が高いです。</p> <p>1 時間 300 円は承知ですが、そのあとの 1 時間 300 円は患者・障害者にとっては納得できません。</p> <p style="text-align: right;">他 11 件</p>                                                 | <p>貴重なご意見ありがとうございます。</p> <p>駐車料金に関しては、周辺の相場等を確認し現在の金額設定にさせていただきます。</p> <p>障害者手帳（2 級以上）をお持ちの患者さんまたはご家族の方は料金を減免いたします。詳しくは当院ホームページをご覧くださいますよう、お願いいたします。</p> |
| <p>&lt; 環境について &gt;</p> <p>先生や看護師さんに大変親切にいただき、17 日間の入院も無事に終え退院します。</p> <p>本当にお世話になりました。</p> <p style="text-align: right;">他 2 件</p>                                                                  | <p>貴重なご意見をいただき、ありがとうございます。</p> <p>日常生活が手術する前のように戻れること、体力の回復を含め万全になりますようご静養ください。</p> <p>今回のご意見はスタッフで共有し、今後も継続できるよう精進していきます。</p> <p>本当にありがとうございました。</p>    |

平成30年5月  
ご意見・ご要望の総計  
30件



## 診療統計

前年同月比 ( )内は 1 日平均

診療実日数 2017 年 5 月 (入院: 31 日・外来: 24 日)、2018 年 5 月 (入院: 31 日・外来: 24 日)

|            | 入院患者数              | 外来患者数                | 救急搬送数          | 手術件数           |
|------------|--------------------|----------------------|----------------|----------------|
| 2017 年 5 月 | 18,034 人 (581.7 人) | 27,009 人 (1,125.4 人) | 467 件 (15.6 件) | 698 件 (34.9 件) |
| 2018 年 5 月 | 17,979 人 (580.0 人) | 26,382 人 (1,099.3 人) | 458 件 (15.3 件) | 741 件 (35.3 件) |

## 医師の配属・異動・退職

### 新規配属医師

#### 【附属施設より】

|                  |        |            |                 |
|------------------|--------|------------|-----------------|
| ・澤田 成彦 (消化器センター) | 昭和大学病院 | 消化器・一般外科より | 2018 年 7 月 1 日付 |
| ・山家 弘雄 (脳神経外科)   | 藤が丘病院  | 脳神経外科より    | 2018 年 7 月 1 日付 |
| ・岡田 洋介 (眼科)      | 東病院    | 眼科より       | 2018 年 7 月 3 日付 |

#### 【学外研修より】

|                  |                 |
|------------------|-----------------|
| ・阿部 正洋 (消化器センター) | 2018 年 7 月 1 日付 |
| ・倉田 知幸 (消化器センター) | 2018 年 7 月 3 日付 |

### 異動・退職医師

#### 【附属施設へ】

|                |               |                 |
|----------------|---------------|-----------------|
| ・谷岡 大輔 (脳神経外科) | 昭和大学病院 脳神経外科へ | 2018 年 7 月 1 日付 |
|----------------|---------------|-----------------|

## 編集後記

暑さが本格的になる 7 月には土用の丑の日にうなぎを食べる事が習慣の一つとなっています。この「土用」とは立春、立夏、立秋、立冬の前の約 18 日間のことです。土用の丑の日にうなぎを食べようになったのは諸説ありますが、江戸時代、「丑の日に(う)から始まる食べ物を食べると夏バテしない」という風習があったそうです。しかしこの事はあまり周知されておらず、店先にこの風習を張り紙したところうなぎ屋は大繁盛したそうです。うなぎを食べてスタミナをつける昔ながらの健康思考が現代においてもこの習慣を定着させたのではないのでしょうか。うなぎはビタミン、ミネラルなど栄養源が豊富な食べ物です。暑さに負けないようにスタミナをつけて夏を乗り切りましょう。

〈臨床病理検査室 十良澤 智子〉



北部病院だより 第 121 号  
平成 30 年 7 月 1 日発行  
発行責任者 門倉 光隆 (昭和大学横浜市北部病院長)  
編集責任者 緒方 浩顕 (広報委員会 委員長)  
発行 地域中核病院 昭和大学横浜市北部病院  
〒224-8503 横浜市都筑区茅ヶ崎中央 35-1  
電話 045-949-7000(代表)  
URL: <http://www.showa-u.ac.jp/SUHY/index.html>  
北部病院ホームページにて最新・過去の『病院だより』  
がご覧いただけます。